

全道フットサル選手権大会 2025 U-12 の部 苫小牧地区予選 開催要項

1. 主 旨 北海道のフットサルの普及・振興のため、小学生年代のフットサル大会を開催し、併せてフットサル技術の向上と健康な心身の育成を図ることを目的として、本大会を実施する。
2. 主 催 苫小牧地区サッカー協会、主管：苫小牧地区サッカー協会第4種委員会
3. 期 日 2025年1月18日（土）、19日（日）
4. 会 場 緑小学校体育館・拓勇小学校体育館・静内体育館
5. 参加資格
 - (1) フットサルチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「フットサル4種」の種別で加盟登録した単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2012年4月2日以降に生まれた選手（6年生以下）であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (2) サッカーチームの場合
 - ① 公益財団法人日本サッカー協会に「4種」または「女子」の種別で加盟登録された単独のチームであること。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。
 - ② 前項のチームに所属する2012年4月2日以降に生まれた選手（6年生以下）であること。男女の性別は問わない。
 - ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。
 - (3) 複数チームによる「合同チーム」の本大会参加については、上記（1）又は（2）における参加資格を満たしている場合において認めることとする。ただし、合同チームの複合参加については不可とする。
 - (4) 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。
 - (5) 下記本大会フットサル登録料を苫小牧地区サッカー協会において納入完了していること。
 - ① フットサルチームの場合 登録料 2,000円
 - ② サッカーチームの場合 登録料 4,000円
 - (6) 合同チームで参加する場合は下記のとおりとする。
本要項制定時点で加盟登録されている単独のチームにおいて6年生が5名未満で合同チームを組んでも6年生が10名未満。

6. 競技規則

大会実施年度の（公財）日本サッカー協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規程を定める。

- (1) ピッチ
 - ・ 大きさ：サイズは原則として32m×16m
 - ・ センターサークル：半径2.5m
 - ・ ペナルティーエリア四分円の半径：5m
 - ・ ペナルティーマーク：5m
 - ・ 第2ペナルティマーク：8m
 - ・ 交代ゾーンの長さ：4m
 - ・ タイムキーパーの机の前のエリア：ハーフウェーラインの両端からそれぞれ4m
- (2) 守備側競技者のボール等から離れる距離
 - ・ フリーキック：4m
 - ・ コーナーキック：4m
 - ・ キックイン：4m
- (3) 使用球は、フットサル3号球ボールとする。
- (4) 競技者の数
 - ・ 競技者の数：5名
 - ・ 交代要員の数：11名以内
 - ・ ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数：2名以内
- (5) ベンチに入ることのできる人数は15名以内（交代要員11名、役員4名以内）とする。

- (6) 試合時間はランニングタイムにより 24 分（前後半各 12 分、ハーフタイムのインターバル 5 分（前半終了から後半開始前まで））とする。
- (7) 試合の勝者を決定する方法（競技時間内に勝者が決定しない場合）
 - ① 予選リーグは引分けとする。
勝点合計が同一の場合は、次の各号の順序により決定する。
 - ① リーグ戦の総得失点差
 - ② リーグ戦の総得点数
 - ③ 当該チーム間の対戦成績（イ：勝点 ロ：得失点差 ハ：総得点数）
 - ④ フェアプレーポイントの合計がより少ないチーム
 - (ア) 警告 1 回 1 ポイント
 - (イ) 警告 2 回による退場 1 回 3 ポイント
 - (ウ) 退場 1 回 3 ポイント
 - (エ) 警告 1 回に続く退場 1 回 4 ポイント
 - ⑤ 抽選
 - ② 決勝トーナメントにおいて勝敗が決しない時は、PK 方式により勝敗を決定する。
 - ③ 決勝戦のみ延長戦を行う。延長に入る前のインターバルは 5 分間とする。
 - ④ 延長戦は前後半各 3 分ずつ、計 6 分間とする。
 - ⑤ PK 方式に入る前のインターバルは 1 分間とする。
- (8) タイムアウトは適用しない。

7. 競技方法

- (1) 3~4 チーム、8 ブロックによるリーグ戦を行い上位 1 位のチームが決勝トーナメントに出場し順位を決定する。
- (2) 試合が一方のチームの責に帰すべき事由等により開催不能または中止になった場合には、その帰責事由のあるチームは 0 対 5 または、その時点のスコアがそれ以上であればそのスコアで敗戦したものとみなす。

8. 懲 罰

- (1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
- (2) 本大会期間中に警告の累積が 2 回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の 1 試合に出場できない。
- (3) 前項により出場停止処分を受けたとき、予選ラウンド終了時点で警告の累積が 1 回るとき、または、本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。
- (4) 本大会終了時点で未消化となる出場停止処分は、当該チームが出場する直近のフットサル公式戦にて消化する。ただし、警告の累積によるものを除く。
- (5) その他、本大会の懲罰に関する事項については、本大会の大会規律委員会が決定する。

9. 帯同審判

- (1) 参加チームは、公認フットサル審判員を 1 名以上帯同させること。
- (2) 帯同審判員は、審判割当によりその業務に当たるものとする。
- (3) 帯同審判員は、役員と兼ねることはできる。

10. 競技者の用具

(1) ユニフォーム

- ① フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム（シャツ、ショーツ、ストッキング）を各試合必ず携行すること。
- ② チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
- ③ フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ自分自身の背番号のついたものを着用すること。
- ④ シャツの前面、背面に選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
- ⑤ 選手番号については 1 から 99 までの整数とし、0 は認めない。1 番はゴールキーパーが付

- けることとする。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
- ⑥ユニフォームへの広告表示については、本協会の承認を受けている場合のみこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告拠出料などの経費は当該チームにて負担することとする。
- ⑦その他のユニフォームに関する事項については、JFAのユニフォーム規程に則る。

(2) 靴

キャンバス、または柔らかい皮革製で、靴底がゴム、または類似の材質で出来ており、接地面が飴色、白色、もしくは無色透明のフットサルシューズ、トレーニングシューズ、または体育館用シューズタイプのもの。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)

(3) ビブス

交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。ビブスによる交代はしない。

1 1. 監督会議 監督会議は開催しない。

1 2. 開会式 開会式は開催しない。

1 3. 表彰及び表彰式

- (1) 開催しない。

1 4. 負傷及び事故の責任

- (1) 大会期間中の負傷及び事故の責任は、当該チームが負うものとする。なお、医師及び救急用具の準備は各チームの責任において行なうこととする。
- (2) 選手はスポーツ保険または、それに準じた保険に加入していること。

1 5. その他

(1) 電子選手証等

各チームの登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行のフットサル電子登録証の写しまたは選手証を試合会場に持参すること。いずれかが確認できない場合は、試合に出場できない。

- (2) 選手の資格に関して不都合な行為等があった場合、そのチームの出場を停止する。

- (3) 震災等、不測の事態が発生した場合には、事業委員会において協議の上対処する。中断・中止・延期することがあることを留意のこと。

- (4) 競技時間中、ウォーミングアップ時間中を問わず、自分のベンチにおいては採取可能な飲料は「水のみ」に限定する。

- (4) 優勝チームは、2025年2月に開催される「全道フットサル選手権大会 2025 U-12の部」に参加できる。

- (6) 選手の保護者・関係者のマナー遵守(路上駐車、喫煙マナー、会場内での全ての言動、保護者・関係者を含めた「チーム内」において排出されるゴミ)については、チーム責任とする。

- (7) 本要項に記載のない事項については、本協会第4種委員会にて決定する。

- (8) 例えば地区へ2チーム登録、Aチーム8人、Bチーム8人で登録したが当日までにAチームに欠員が出て4人になる。その時Aチームを棄権とするよりBチームから1~2人移動させて参加可能の方が好ましいと考える。

よって大会当日にメンバー表提出、地区への申し込みに登録されている選手である事の確認のみでA、Bの属は問わない。

ただし大会開始後の移動は認めない。

1 6. 申込期日

2025年 月 日まで 【期日厳守】

1 7. 申込先

苫小牧地区サッカー協会 メールアドレス：tomakomai-fa@sunny.ocn.ne.jp

期日までに参加申込書及びプライバシーポリシーを上記アドレスにメールにて送信のこと。

1 8. 新型コロナウイルス関連

- ①今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、原則(公財)北海道サッカー協会策定のガイドラインに沿って大会運営を行っていく。

- ②本競技会は大会期間を通じて感染対策担当者を設置する。選手・チーム役員・審判員・大会運営等関係者・引率保護者・観客など会場にいる全ての者は、感染対策担当者の判断・指示等に従わなければならない。

また、試合前に各チームの感染対策担当者ミーティングを実施する。

- ③別に定める「感染対策マニュアル」を遵守すること。なお今後の行政による指示や対応によっては、本大会を中止する場合がある。
- ④中止となった場合は、協議の上対応とする。
- ⑤大会参加チームは、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインやチェックリストに沿って行動し、感染拡大の予防に努めること。なお、大会の途中で関係者から感染者がでた場合は本大会運営委員会において、協議のうえ対応する。
- ⑥コロナ感染防止の関連書類は開催期間の間提出する事。
 - ・メンバー表
 - ・各会場における必要書類